

すてきな作品「あるじゃん」

宇佐シルバーセンターが手作りの店



宇佐市シルバー人材センターが開いた「あるじゃん」。市民が出品した約500点が並ぶ＝宇佐市四日市のワークプラザ

【宇佐】宇佐市四日市の市シルバー人材センター（安部政博理事長、411人）は、隣接するワークプラザで、ハンドメイドショッ

プ「あるじゃん」を始めた。手芸が得意な会員らの作品発表や販売の場として開店した。店内にはかばん、ぬいぐるみ、木工など約5

00点を並べた。会員同士がコミュニケーションを図り、女性会員の活躍の場を広げる。新型コロナウイルスの影響で、オープンイベントは中止した。

名前はシルバー（銀）のフランス語「argent（アルジャン）」と、あそこに行けば何かあるという意味で付けた。

会員と一般の約20人が出品。出店は市民なら可能。販売手数料は会員が10%、一般が15%。

同所で4〜6日、エコバッグを作るワークショップを開く。同センター事務職員 的畑道寿美代さん(55)は「気軽に行けて何かあるという場所にした」と話した。
(藤本昌平)

まるっと大分各地のニュース